

宮城県感染症発生動向調査情報(第27週)

宮城県【平成25年07月11日】発行
宮城県保健環境センター
TEL (022)257-7228

- 2013.7.1 ~ 7.7 ・ 第27週 -

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾病	保 健 所								宮 城 県 (含む仙台市)						
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	仙台市	患者数	患者数	累計	第24週	第25週	第26週	第27週
水痘	13 2.60	9 0.90	4 0.80	1 0.50	6 2.00	13 2.60	4 2.00	33 1.27	83 1.43	2,174	◎ →	◎ →	◎ →	◎	
流行性耳下腺炎		4 0.40	1 0.20		1 0.33	1 0.20	5 2.50	7 0.27	19 0.33	609	→	→	○ →	レ	
百日咳											→	→	→		
感染性胃腸炎	19 3.80	42 4.20	13 2.60	12 6.00	14 4.67	16 3.20	9 4.50	128 4.92	253 4.36	11,056	◎ →	◎ →	◎ →	◎	
手足口病	4 0.80	6 0.60	2 0.40		6 2.00	4 0.80		27 1.04	49 0.84	343	→	○ →	○ →	○	
伝染性紅斑	1 0.20	4 0.40					4 2.00	11 0.42	20 0.34	339	○ →	レ →	→		
突発性発しん	3 0.60	9 0.90	6 1.20	1 0.50	3 1.00	4 0.80	5 2.50	24 0.92	55 0.95	986	○ →	レ →	○ →	○	
ヘルパンギーナ	1 0.20	14 1.40	1 0.20	19 9.50	3 3.00	2 2.40		17 0.65	73 1.26	252	○ →	○ →	○ →	◎	
インフルエンザ	1 0.13	5 0.50	1 0.13		2 1.00	2 0.40		11 0.42	27 0.47	511	レ →	○ →	○ →	○	
咽頭結膜熱	7 1.40	3 1.00				1 1.00		3 0.50	7 0.58	85	→	→	→		
流行性角結膜炎											→	→	→		
急性出血性結膜炎											→	→	→		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	22 4.40	20 2.00	1 0.20		2 0.67	32 6.40		42 1.62	119 2.05	3,102	◎ →	◎ →	◎ →	◎	
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→		
無菌性髄膜炎											→	→	→		
マイコプラズマ肺炎		2 2.00	1 1.00	2 2.00	1 1.00	1 1.00	15 15.00	5 1.00	27 2.25	542	→	→	○ →	○	
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→		
RSウイルス感染症	1 0.20					1 0.20		5 0.19	7 0.12	269	→	→	→		
拡大疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	1	8	2		1	6	2	：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ：発生または流行について、今後の情報に留意 し、発生が少なくなっている傾向 【通報の詳細】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/						
	川崎病	1													
	不明発疹症	1						5							

今週の全数報告疾病

*男児、女児は6歳未満

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 結核
 - 仙南管内 男性1名
 - 塩釜管内 男性1名
 - 石巻管内 男性1名
 - 気仙沼管内 女性1名
 - 仙台管内 男性3名、女性1名(第26週)、女性2名
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌(O26)
 - 塩釜管内 男性1名
 - 仙台管内 女性2名
 - 腸管出血性大腸菌(O157) 仙台管内 男性1名
 - 腸管出血性大腸菌(O型不明) 大崎管内 女性1名
- 4類感染症: レジオネラ症
 - 大崎管内 男性1名
 - 仙台管内 男性1名
- 5類感染症: アメーバ赤痢
 - 仙台管内 男性1名(第23週)、男性1名(第26週)
 - 後天性免疫不全症候群 仙台管内 男性1名
 - 侵襲性肺炎球菌感染症 大崎管内 女性1名
 - 梅毒 仙台管内 男性2名(第26週)、男性2名
 - 風しん 石巻管内 男性1名(検査診断例) 仙台管内 男性1名(臨床診断例)、女性1名(臨床診断例)

今週のインフルエンザによる入院患者報告 (仙台市を含む基幹定点報告) 0例

今週の感染症のコメント

一 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【ヘルパンギーナ】

栗原管内で警報継続中。

【伝染性紅斑】

気仙沼管内で警報値を超えた。

【風しん】

今週あらたに3例の報告があり、2013年の累積報告数は88例となった。

【病原体検出情報】

～保健環境センター～

腸管出血性大腸菌集団発生事例より

栗原管内 第27週採取分 ノロウイルス(GⅡ) 4件

腸管出血性大腸菌患者より

塩釜管内のO26関連 第25週採取分 O26 2件、第26週採取分 O26 5件

栗原管内のO145関連 第26週採取分 O145 2件

栗原管内のO103関連 第26週採取分 O103 1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

第25週採取分 第26週採取分 第27週採取分

(6.17～6.23) (6.24～6.30) (7.1～7.7)

パラインフルエンザウイルス1型 1件 0件 0件

パラインフルエンザウイルス3型 8件 3件 0件

RSウイルス 1件 4件 0件

サトウカサガイウイルス 0件 1件 0件

インフルエンザ定点
インフルエンザ定
点は、内科定点と
小児科定点を合
せたもので、県全
体で93定点です。
宮城県:51定点
仙台市:42定点
合 計:93定点

インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢別割合)

報告週	年齢群											総数 (人)
	0～4歳 (%)	5～9歳 (%)	10～14歳 (%)	15～19歳 (%)	20～29歳 (%)	30～39歳 (%)	40～49歳 (%)	50～59歳 (%)	60～69歳 (%)	70～79歳 (%)	80歳～ (%)	
2013年 第25週	0.0	42.9	28.6	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	7
第26週	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1
第27週	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2

定点把握の対象となる5類感染症(全国 2013年第25週) (国立感染症研究所感染症情報センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第18週以降減少が続いている。都道府県別では沖縄県(4.16)、宮城県(0.93)、岐阜県(0.63)が多い。**RSウイルス感染症:** 報告数は361例と増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約82%を占めている。**咽頭結膜熱:** 定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている。佐賀県(2.91)、広島県(1.42)、石川県(1.21)が多い。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎:** 定点当たり報告数は減少した。新潟県(3.21)、石川県(3.00)、福井県(3.00)が多い。**感染性胃腸炎:** 定点当たり報告数は第21週以降減少が続いている。宮城県(10.17)、大分県(9.36)、福井県(6.91)が多い。**水痘:** 定点当たり報告数は減少した。宮城県(2.61)、大分県(2.22)、鹿児島県(1.84)が多い。**手足口病:** 定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている。佐賀県(9.74)、大分県(8.44)、熊本県(8.06)が多い。**伝染性紅斑:** 定点当たり報告数は減少した。富山県(1.31)、新潟県(0.34)、宮城県(0.26)が多い。**ヘルパンギーナ:** 定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている。熊本県(2.64)、佐賀県(2.09)、徳島県(1.83)が多い。**流行性耳下腺炎:** 定点当たり報告数は増加した。福井県(1.91)、佐賀県(0.96)、福島県(0.91)が多い。**マイコプラズマ肺炎:** 定点当たり報告数は減少した。沖縄県(2.43)、青森県(2.33)、福島県(2.00)が多い。